

## ・困ったときには

故障かなと思う前に、下表を参照し本機の状態を確認してください。

### (1) 基本的な想定原因

下表のページを参照しても問題を解決できない場合は、「製品保証」(⑤製品保証)参照し当社にお問い合わせください。

症状	想定原因/対処
電源が入らない	電源コードが接続されていない恐れがあります。 「電源と接地」(②-P.3)参照
	ヒューズが切れている恐れがあります。 「ヒューズ」(②-P.10)参照
発振しない	出カツマミが最小になっている恐れがあります。フロントパネルの出カツマミを調整してみてください。 「発振器の名称」(②-P.1)参照
	発振器のフロントパネルにある発振スイッチを ON にしてください。発振した場合は外部回路(自動機側)での誤配線や断線、コネクタの接触不良が考えられます。 「自動で使う場合」(②-P.4)または「手で使う場合」(②-P.7)参照
エラーした エラーランプ(赤)が点灯し、 ブザーによる警告が行われる。 同時に自動機へエラー信号 を出力します。	<b>過熱保護</b> 発振器または振動子に過熱を感知すると作動します。 「発振器の設置」(②-P.3)と「冷却エアの供給」(③-P.3)参照
	<b>過負荷保護</b> 作業中に本機の能力を超え、故障に繋がるような負荷がかかると作動します。 過負荷停止については「過負荷停止の想定原因」(④-P.9)参照
	<b>出力保護</b> 振動子配線の正常に接続されていないと作動します。誤配線や断線の可能性。 「発振器との接続」(③-P.4)参照
エラーから復帰(リセット)するには・・・ 発振器のフロントパネルにある電源スイッチを一旦 OFF にしてから 5 秒後に再度 ON にすると行えます。	
エラーから復帰(リセット)できない	上記のエラーの問題を解決できていない可能性があります。 再度確認してください。
刃物、ホルダまたはホーン 工具が破損した	部品の寿命や取り付けと洗浄に不備がある恐れがあります。交換や確実な取り付けと洗浄を行ってください。 「振動子の保守」(③-P.5)
出カランプの点灯数がおかしい	「出力切替制御機能」(②-P.8)によるランプの点灯数は目安になります。 実際の振動子への出力は 75%、50%に切り替えられています。

## (2) 過負荷停止の想定原因

作業中に本機的能力を超え、故障に繋がるような負荷がかかると作動します。

下表のページを参照しても問題を解決できない場合は、「製品保証」(⑤製品保証)参照し当社にお問い合わせください。

想定原因	対処
本機では切断できないワーク、または条件が厳しい。	切断対象のワークを見直してください。
自動機に設置されている振動子の「刃物の方向」と「送り方向」が一致していない。	自動機と本機との動作を見直してください。
自動機との運転中、刃物以外の部分がワークなどに接触している。	
直線での送りでは問題ないが、曲線での送りでは過負荷停止する。	送りが適当でない恐れがあります。 曲線の送り速度を調整し直し、テストしてください。
刃物の破損や摩耗が原因で負荷が高い。	振動子の保守に問題があります。 「振動子の保守」(③-P.5)参照
部品の取り付け不良が原因で負荷が高い	
部品の連結部に異物や油などの汚れが原因で負荷が高い。	
振動子に取扱説明書の指示にない工具(刃物)を取り付けている。	振動子には適合する工具(刃物)でないと正しく動作しません。 「仕様と構成」(⑥仕様と構成)参照